

学校関係者評価報告書

(令和元年度)

令和2年4月

富山市立富山外国語専門学校

令和2年4月

富山外国語専門学校 学校関係者評価委員会は、令和元年度 自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、その結果を報告いたします。

1 令和元年度 富山外国語専門学校 学校関係者評価委員会

日時 令和2年3月25日(水) 15時

場所 富山外国語専門学校

出席者 学校関係者評価委員 4名

山下 富雄	元射水市教育長、元本校非常勤講師
川端 國昭	前本校校長
清水 義彦	富山県立大学准教授、元本校講師
平岡 麻子	英会話講師、本校卒業生

事務局 5名

上田 為久	富山外国語専門学校 校長
中島 志津子	富山外国語専門学校 事務長
スーザン 浦上	富山外国語専門学校 教授
白野 妙子	富山外国語専門学校 准教授
高山 弥生	富山外国語専門学校 主事

2 基準ごとの学校関係者評価、意見

基準	点検項目	委員の評価、意見等
1 教育理念・目的・育成人材像等	【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか	○一般教養科目に割く時間は無いとの理由で、敢えて全国で唯一の公立の外国語専門学校として開校したことは英断であったと改めて思う。 ○外国人専任講師 6 名の存在は校風をのびやかで家庭的なものにし、多彩な学校行事への参加と相まって人間性の涵養に大いに貢献している。
	【1-2】学校の特色はなにか	○豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化体験を身につけ、国際的に活躍できるグローバル人材を継続的に育てていかなければならないと、2011 年にグローバル人材育成推進会議が示した内容は、学校設立時の教育理念と重なり、時代のニーズに沿った人材育成を担っている富山外国語専門学校の価値は高いと思う。 ○設立時の理念からぶれることなく、若者が世界を舞台に活躍するための素地を身に着けるプログラムが遂行していることが富山外国語専門学校の特色であり、もっと発信してほしい。
	【1-3】学校の将来構想を抱いているか	○進学率が高く、県外からの志願者が多いということは、魅力が広く知られ、優秀な人材がより専門的で高度な学習をしたいと集まってきているということであり、講師の専門性や指導スキルが高いのだろうと思う。

基準	点検項目	委員の評価、意見等
2 学校運営	【2-4】運営方針は定められているか	○適切な学校運営が行われている。
	【2-5】事業計画は定められているか	
	【2-6】運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	
	【2-7】情報システム化等による業務の効率化が図られているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
3 教育活動	【3-8】各学科の教育目標、育成人材等は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	<p>○卒業不認定は、卒業後の進路が決定している場合、大変重い決定であるが、GPAに基づく認定基準が厳正に適用されている。また、17名が大学3年次編入試験に合格しており、学校や学部も多彩で新たな開拓が見られる点は特筆に値する。</p> <p>○学生の持つ力が、業界の人材ニーズレベルに相応したものかは、学生自身が感じ評価し、次のアクションにつなげていくものと思う。その機会として、インターンシップの活用が有効である。今では、企業側の理解も進み多くの企業が導入しているので、富山県インターンシップ推進センターのインターンシップナビとやま等も活用し、インターンシップに参加することで、自分の持つ力を見極めるだけでなく、適性の判断材料に使えらると思う。</p> <p>○アンケートを2種類実施していることは、教員の授業力向上に向けた意識の高まり、アクションにつながり良いと思う。</p> <p>○時代に必要な求められる力、人間力、価値観などを十分に養えるカリキュラムになっていると思う。2020年度の小学校の指導要領改訂から順次、中学、高校と改訂されるため、今後、柔軟な対応が必要となるのではないかと。</p>
	【3-9】各学科の教育目標、育成人材を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルに明確に定められているか	
	【3-10】カリキュラムは体系的に編成されているか	
	【3-11】学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	
	【3-12】授業評価の実施・評価体制はあるか	
	【3-13】育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	
【3-14】成績評価・単位認定の基準は明確になっているか		

基準	点検項目	委員の評価、意見等
4 教育効果	【4-15】就職率の向上が図られているか	<p>○実務英語科 39名、専攻科 11名が今年度卒業しており、退学率の低減を図るきめ細かな取り組みが確実に功を奏している。</p> <p>○第一回卒業生でNY在住の芸術家吉野美奈子さんの彫刻「ラバーズ」がマスコミでも大きく取り上げられ、卒業生にも在校生にも自信と誇りを与えたのではないかと。</p> <p>○十分な指導と成果を上げていると思う。英検一級合格は難関だが、合格者を毎年出していること等を考えると、専門機関として自信をもってアピールできると思う。</p>
	【4-16】資格取得率の向上が図られているか	
	【4-17】退学率の低減が図られているか	
	【4-18】卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
5 学生支援	【5-19】就職・進学指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか	<p>○奨学金を受けることができる学生が増える取り組み、工夫は良いと思う。</p> <p>○就職・進学について手厚いフォローがあると思う。また、経済的負担の軽減にも努めており、常に生徒の視点で尽力していると思う。</p> <p>○卒業生をいつでも快く受け入れる校風は嬉しく思う。</p>
	【5-20】学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	
	【5-21】学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	
	【5-22】学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	
	【5-23】課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	
	【5-24】保護者と適切に連携しているか	
	【5-25】卒業生への支援体制はあるか	
	【5-26】留学支援や海外との連携による国際教育交流の体制があるか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
6 教育環境	【6-27】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<p>○防災訓練など体制は整っていると思う。</p> <p>○学外実習の「小学生英語ふれあい教室」はとても良い活動だと思う。裾野を広げることが大切なので、参加した小学生に未来の姿を想像させることもでき、学生は教えることで逆に多くを学べることに気付けると思う。</p>
	【6-28】学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	
	【6-29】防災に対する体制は整備されているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
7 学生の募集と受け入れ	【7-30】 学生募集活動は、適正に行われているか	<p>○「英語でコミュニケーションできる能力と広い視野を持つ国際人」を目指す高校生がいる限り、富山外国語専門学校の存在意義がなくなることはないと確信している。学歴ではなく、どのような資格を取得して何が出来るか、どのような人間かが以前にもまして問われている。</p> <p>○届けたい人に情報を届けるためにも、発信対象を明確にし、その年齢層が使用している受信媒体上で情報を流すべきであると思う。</p> <p>○学生主体で、学生の感覚で、「誰に何を伝えたいか」を意識しながら、SNSを有効活用するのはおもしろいと思う。(TCFLのとある1日、レッスン紹介、名物 teacher など)</p>
	【7-31】 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	
	【7-32】 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
8 法令等の遵守	【8-33】 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○特になし
	【8-34】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
	【8-35】 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	
	【8-36】 自己評価結果を公開しているか	

基準	点検項目	委員の評価、意見等
9 社会貢献	【9-37】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	<p>○地域に出てボランティア活動をすることで、多くのことを学び、成長できたと多くの卒業生が語っている。大いに勧めてほしい。</p> <p>○学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、学生のボランティア活動、この2点は、学校の存在意義を高めるうえでもとても重要なので、さらに推進してほしい。</p>
	【9-38】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	